

# 2023 年度事業報告書

自 2023年 4月 1日

至 2024年 3月31日

一般財団法人食品環境検査協会

# 2023 年度事業報告書

自 2023 年 4 月 1 日

至 2024 年 3 月 31 日

## I 一般概況

2022 年から続くロシアによるウクライナへの軍事侵攻や米欧におけるコロナ禍からの回復による物価上昇が生じ、わが国においても 40 年ぶりの物価上昇などマクロ経済環境の大きな変化が生じた。また、新型コロナの感染症法上の位置付けが 5 月に 5 類感染症に移行し、景気の自律的な循環を制約してきた要因は解消された。こうした中、春闘における 30 年ぶりの高い賃上げや企業の高い投資意欲など、日本経済には前向きな動きがみられた。

一方で、企業の業況や収益の改善がみられるものの、その好調さが、必ずしも十分に賃金や投資に回っておらず、内需は力強さを欠く状況も続いている。さらに、2024 年 1 月の能登半島地震の経済に与える影響は小さくない。

雇用面では、非正規雇用の、特に女性について、正規雇用への転換・復帰を後押しするような支援や、年収の壁による就業調整のインセンティブを減じる恒久的な制度の確立等が重要となっており、企業としても対策が急がれる。

このような状況下で当協会は輸入食品に係る依頼の試験収入が大幅に減少したが、飼料・ペットフードに係る試験収入及び食品等試験検査事業に係る依頼の試験収入が大幅に増加したため、前年実績を若干下回るに留まった。

## II 事業別概況

### 1 J A S に関する事業

J A S 法に基づく登録認証機関として、2 事業者の認証審査及び認証した 59 事業者について確認調査を実施した。

(1) J A S 認証件数等

ア J A S 認証件数

(単位：件)

種 類	計 画	実 績
飲食料品	0	1
自己検査による取扱業者	0	0
第三者機関検査による取扱業者	0	1
有機加工食品・有機農産物	0	1
生産行程管理者	0	1
小分け業者	0	0
輸入業者	0	0
合 計	0	2

イ J A S 認証業務における認証業者の状況

(ア) 飲食料品

品 目 \ 事項	2023年3月 31日現在の 認証業者数	2023年度中 の認証業者数	2023年度中 の廃止業者数	2024年3月 31日現在の 認証業者数
食料缶・瓶詰	35	0	5	30
果実飲料	2	0	0	2
ジャム類	9	1	2	8
そしゃく配慮食品	3	0	0	3
合 計	49	1	7	43

(イ) 有機加工食品

種 類 \ 事項	2023年3月 31日現在の 認定業者数	2023年度中 の認証業者数	2023年度中 の廃止業者数	2024年3月 31日現在の 認証業者数
生産行程管理者	6	1	2	5
小分け業者	2	0	0	2
輸入業者	5	0	0	5
合 計	13	1	2	12

(2) 具体的な取り組み

ア 認証業者に係る定期調査

既存の認証業者に対し所要の定期調査を実施した。

種 類	調査業者数
飲食料品	46
有機加工食品	13
合 計	59

イ 格付のための検査

飲食料品に係る認証業者からの委託を受け、日本農林規格に基づく格付のための検査を行った。

ウ 外部に対する講習会等の開催

J A S 認証業者の品質管理責任者等を対象に、認証の技術的基準に基づく当協会

の指定する講習会等を次のとおり開催した。

- (ア) 農産物缶詰及び農産物瓶詰、畜産物缶詰及び畜産物瓶詰、水産物缶詰及び水産物瓶詰、ジャム類並びにそしゃく配慮食品の品質管理責任者等講習会  
横浜市(2023年7月3日～7日)
- (イ) 果実飲料の品質管理責任者等専門講習会  
東京都及びオンライン配信(2024年2月1日)
- (ウ) 有機加工食品 JAS 講習会  
東京都及びオンライン配信(2023年6月2日、同11月1日、2024年2月16日)
- (エ) 食品製造業品質管理担当者一般講習会  
東京都及びオンライン配信(2023年5月30日～31日、同10月3日～4日、2024年1月30日～31日)

エ 内部における会議、研修等の実施及び外部の委員会等への参加

- (ア) J A S 認証業務規程に基づくマネジメントレビュー等  
マネジメントレビュー(2024年2月14日)を東京で開催したほか、内部監査を各事業所(東京:2023年12月6日、神戸:同12月21日)及び本部(2024年2月28日、同3月4日)において実施した。
- (イ) 公平性委員会  
J A S 法が採用する「製品の認証を行う機関に関する国際基準」である ISO/IEC 17065 の要求事項である「公平性の確保」のため、公平性委員会を開催した。(2023年6月12日 東京都)
- (ウ) 各種研修会、講習会の開催及び外部研修会等への参加(9特記事項参照)
  - a 検査員等の資質向上を図るため、各事業所の検査員等を対象に、関連業務についての検査員等研修会を開催した。(2024年2月16日 東京都)
  - b 農林水産省 大臣官房 新事業・食品産業部 食品製造課による有機食品等登録認証機関連絡会議に担当者を参加させた。(2023年10月27日 オンライン)
  - c 一般社団法人日本農林規格協会による JAS 連絡協議会に担当者を参加させた。(2024年1月22日 東京都)
  - d 独立行政法人農林水産消費安全技術センター(F A M I C)による日本農林規格の制定等に係る検討会に嘱託委員として担当者を参加させた。(2023年6月22日 オンライン)

オ 業界が行う研究会等への協力

- (ア) 公益社団法人日本缶詰びん詰レトルト食品協会が行った巻締主任技術者資格認定講習会査定会及び品質管理主任技術者資格認定講習会査定会に参画した。なお、新型コロナウイルス感染症予防対策の観点から確認等はオンライン及びメールでの報告となった。(2023年9月29日(オンライン)、2023年10月

18日（オンライン）、2024年2月13日（メール））

(イ) J A Sの普及推進を図るため、一般社団法人日本パインアップル缶詰協会が行った開缶研究会に協力した。（2023年9月28日 東京都）

カ 登録認証機関である当協会への定期的調査等

F A M I Cによる認証業務に係る立会調査が2023年12月25日（神戸事業所、飲食物品）、2024年2月20日（東京事業所、飲食物品）に実施された。

## 2 食品衛生に関する試験検査事業

本事業は、食品衛生法に基づく登録検査機関として、製品検査等の申請に基づき実施するもので、輸入食品等を対象とした試験検査事業である。受託件数は計画の件数に至らなかった。

(1) 食品衛生試験検査実績

（単位：件）

計画 A	実績 B	対計画比 B/A%
47,600	40,164	84.4

(2) 具体的な取り組み

ア 各厚生局による製品検査業務に係る立入検査が、2023年10月に東京事業所及び横浜事業所（関東信越厚生局）、同11月に清水事業所（東海北陸厚生局）、神戸事業所（近畿厚生局）及び福岡事業所（九州厚生局）の各登録検査施設に実施された。

イ 食品衛生登録検査機関外部精度管理調査

一般財団法人食品薬品安全センターが主催する2023年度食品衛生外部精度管理調査に参加した。

ウ 内部点検等

定期的に当協会登録検査施設の製品検査、内部精度管理、外部精度管理等について内部点検を実施した。また、業務見直し会議を2023年6月27日に東京で実施した。

エ 食品衛生登録検査機関協会への参画

分析技術の向上を図ることを目的として設置されている一般社団法人食品衛生登録検査機関協会の各種専門部会及び作業部会の活動に参画した。

## 3 飼料に関する試験検査事業

本事業は、飼料の安全性の確保及び品質の改善に関する法律及び愛がん動物用飼料の安全性の確保に関する法律（ペットフード安全法）に基づき、これに関連して行う試

験検査事業であり、受託件数計画を大幅に上回る実績となった。

(1) 飼料試験検査件数

(単位：件)

計画 A	実績 B	対計画比 B/A %
9,800	14,403	147.0

(2) 具体的な取り組み

独立行政法人農林水産消費安全技術センターが行う飼料の共通試料による分析鑑定に参加した。

#### 4 健康増進に関する試験検査事業

本事業は、健康増進法に基づく登録試験機関として、同法第 43 条第 3 項に規定する許可試験等を行う事業であり、試験受託は 0 件であった。

(1) 健康増進試験検査件数

(単位：件)

計画 A	実績 B	対計画比 B/A %
3	0	0.0

(2) 具体的な取り組み

内部点検を 2024 年 3 月 5 日～7 日に東京事業所、同 3 月 25 日～26 日に清水事業所において実施した。

#### 5 食品等試験検査事業

本事業は、官公庁からの委託試験や自主的な依頼を受けて行う試験検査を中心とし、食品又はその容器包装等に係る試験検査事業及び食品工場等の衛生調査事業であり、計画件数を大幅に上回る実績となった。

(1) 食品等試験検査件数

(単位：件)

計画 A	実績 B	対計画比 B/A %
102,000	109,988	107.8

(2) 具体的な取り組み

ア 「食品衛生法第 28 条第 4 項の規定に基づく収去食品等の試験に関する事務の登録検査機関への委託について」（平成 16 年 12 月 2 日付け食安発第 1202003 号 医薬食品局食品安全部長通知）に基づき、検疫所が実施する食品中の食品添加物、食品の成分規格、食品添加物の成分規格、器具・容器包装の成分規格及び残留農薬等

のモニタリング検査の委託を受け、検査を行った。

イ HACCP の普及推進（9 特記事項参照）

(ア) 一般社団法人日本食品認定機構が行う対米輸出水産物加工施設審査に協力し、全国各地の水産加工施設に職員を派遣し指導を行った。

(イ) 農林水産省輸出・国際局輸出支援課が管轄している EU 向け輸出水産食品に係る HACCP 認定施設へ定期監視、荷口確認および冷凍船漁獲物検査に職員を派遣し調査および検査を実施した。

(ウ) 一般社団法人大日本水産会が主催する水産加工業者等を対象とした FDA 方式の HACCP3 日間講習会に講師として職員を派遣した。

(エ) 食品等事業者を対象として HACCP7 原則 12 手順の基本要素を正しく理解するための HACCP3 日間講習会を、一般財団法人日本食品分析センターと共催で東京にて 5 回開催（内 1 回はサテライト開催）した。

ウ 業界が行う研究会等への協力

業者等からの要望を受け研修会を開催するとともに、業界等からの要請を受け各種研修会、審査会等へ職員を派遣した。（9 特記事項参照）

エ 各種研修会、講習会の開催及び外部研修会等への参加

職員の資質向上を図るため、各種内部研修会や講習会を開催するとともに外部の各種研修会等に職員を参加させた。（9 特記事項参照）

オ 外部精度管理調査等への参加

国立医薬品食品衛生研究所が行う遺伝子組換え食品検査の外部精度管理調査、公益社団法人日本分析センターが主催する放射性セシウムを含む食品の粉碎試料を用いた技能試験、一般社団法人日本バイオテクノロジー認証機構が主催するヒスタミン技能試験、NIL（中国）が行うプラスチック中の有害金属成分分析技能試験、FAPAS 及び FEPAS への技能試験プログラム、一般財団法人食品薬品安全センターが行う特定原材料検査の外部精度管理調査研究等に参加した。

## 6 環境保全に関する試験検査事業

本事業は、計量法に基づき計量証明事業として、食品産業等における水質等の環境に関する試験検査事業であり、計画を下回る実績となった。

なお、人事異動による環境計量士不在に伴い、神戸事業所の計量証明事業登録取り下げを申請した。

(1) 環境試験検査件数

(単位：件)

計画 A	実績 B	対計画比 B / A %
1,450	989	68.2

(2) 具体的な取組み

職員の資質向上を図るため、外部研修会等に参加した。（9 特記事項参照）

## 7 調査研究事業

(1) 国立医薬品食品衛生研究所が実施した次の調査研究に協力した。

- ア 市販製品に残存する化学物質に関する研究（改良蒸発残留物試験）
- イ 食品中の食品添加物含有量分析試験業務（タール色素）
- ウ 精米中の総アフラトキシン分析法の妥当性評価

(2) 国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所が実施した次の調査研究に協力した。

- ア 食品検体の栄養成分分析試験業務（ビタミン類）
- イ 食品検体の栄養成分分析試験業務（たんぱく質等）

(3) 環境・衛生に関する学術の進歩普及、研究基盤の充実・強化を図り、ヒトの健康と健全な環境の維持に寄与することを目的として設置されている公益社団法人日本薬学会 環境・衛生部会の活動に参画した。

## 8 その他の事業

(1) 試験所の能力に関する国際規格である ISO/IEC17025 規格について、2024 年 1 月 22 日～26 日に拡大審査が実施され、あらたに東京事業所で認定項目を追加取得した。また、神戸事業所で認定項目を変更し、横浜、清水及び福岡事業所では、従来の認定項目にて更新審査が実施され、技術的に適格かつ妥当な結果を出す能力を維持していることを実証した。

なお、追加及び変更した認定内容は以下のとおり。

東京事業所：食品全般における放射性核種 (I-131, Cs-134, Cs-137 含む) 濃度測定。

（追加）

神戸事業所：合成樹脂製の器具及び容器包装の原子吸光光度計を用いたカドミウム、鉛の分析試験、硫化ナトリウム比色法による重金属の溶出試験、過マンガン酸カリウム消費量試験法による溶出試験、蒸発残留物 試験法による溶出試験。（玄米・精米に含有する原子吸光光度計（AAS 法）によるカドミウムの分析試験からの変更。）

(2) 食品衛生に関連する厚生労働省、農林水産省及び消費者庁等の通知情報、新規検査項目並びに試験検査技術に関する情報をメールマガジンに掲載し、約 1000 名に年間定期 11 回配信した。

(3) 法令改正への適切な対応を可能とするため、関連団体の開催するオンラインセミナー等を公聴し、その動向の把握に努めた。



- (4) 協会の事業内容の周知を図ることを目的として、食品開発展及び日本果汁協会果汁技術研究発表会に出展し、セミナー、広報及び営業活動を行った。
- (5) 年3回の営業担当者会議をオンラインで実施し、営業担当者と顧客情報の共有及び営業に係る課題や営業活動に関する意見交換を実施した。

## 9 特記事項

### (1) 企業向け研修会の開催

企業向けに技術情報を提供するため、次のとおり研修会を開催した。

開催年月	日数	人数	開催地	開催場所、研修会等内容
2023年6月 2023年10月 2023年11月 2024年2月 2024年3月	各3日間	51名	東京都	HACCP講習会 (一財)日本食品分析センター共催)
2023年12月	半日間	10名	山形県	出張セミナー (HACCP概論)
2024年1月	半日間	15名	埼玉県	出張セミナー (HACCP概論)
2024年1月	1日間	30名	大阪府	出張セミナー (HACCP概論)

### (2) 内部研修会等の開催

役職員の資質の向上を図るため、次のとおり研修会等を開催した。

開催年月	日数	人数	開催地	開催場所、研修会等内容
2023年5月 2023年8月	各1日間	6名	オンライン	放射線取扱主任者による業務連絡会
2023年10月	1日間 (2回)	14名	オンライン	検査区分責任者となる者による意見交換会
2023年11月	1日間	13名	東京都	検査区分責任者に係る業務連絡会 (東京事業所 会議室)
2024年2月	1日間	14名	東京都	JAS検査員等研修会 (東京事業所 会議室)
2024年2月	1日間	7名	本部	軟包装衛生協議会業務連絡会 (東京・神戸事業所)
2024年2月 2024年3月	各1日間	5名	オンライン	化学物質管理者による意見交換会

### (3) 各種研修会、研究会等への参加

各種研修会、研究会に役職員を参加させ、その資質の向上を図った。その主な内容は次のとおりである。

開催年月	日数	人数	開催地	開催場所、研修会等内容
2023年5月	1日間	1名	千葉県	成田空港検疫所輸入食品安全確保に関する講習会(成田空港検疫所 食品監視課)
2023年5月	1日間	2名	オンライン	HPLC基礎セミナー「HPLCの原理、カラム分離の原理」(ジーエルサイエンス(株)、(株)日立ハイテクサイエンス共催)

2023年5月	1日間	1名	オンライン	HPLC基礎セミナー「HPLCのトラブルシューティング」(ジーエルサイエンス㈱、㈱日立ハイテクサイエンス共催)
2023年5月	1日間	1名	オンライン	令和5年度輸入食品等監視業務説明会(横浜検疫所)
2023年6月	2日間	1名	オンライン	ISO/IEC 17025 内部監査員コース(ペリジョンソンホールディング(株))
2023年6月	1日間	1名	オンライン	サンプル前処理の基礎(日本ウォーターズ㈱)
2023年6月	1日間	1名	オンライン	質量分析の基礎(日本ウォーターズ㈱)
2023年6月	1日間	1名	東京都	水産食品HACCPのためのSCP&SSOP講習会((一社)大日本水産会)
2023年6月	1日間	2名	オンライン	遺伝子検査を始めよう!食品環境検査のリアルタイムPCR(タカラバイオ㈱)
2023年6月	3日間	1名	大阪府	HACCP講習会(3日間コース)((一社)大日本水産会)
2023年6月	1日間	1名	大阪府	SCP&SSOP講習会((一社)大日本水産会)
2023年6月	1日間	2名	東京都	SCP&SSOP講習会((一社)大日本水産会)
2023年7月	1日間	2名	神奈川県	横浜検疫所 輸入食品・検査検査センター見学会(東京輸入食品等衛生協議会)
2023年7月	1日間	2名	オンライン	「食物アレルギー定性リアルタイムPCR検査の手法〜「くるみ」の表示義務化〜(㈱ファスマック)
2023年7月	1日間	1名	東京都	2023年度 軟衛協・技術セミナー(軟包装衛生協議会)
2023年7月	1日間	2名	福岡県	HPLCメンテナンス講習会(㈱島津製作所)
2023年8月	3日間	1名	埼玉県	飼料品質改善協議会 総会(飼料品質改善協議会)
2023年9月	1日間	2名	千葉県	JASIS2023((一社)日本分析機器工業会 他)
2023年9月	3日間	1名	東京都	HACCP3日間講習会((一財)日本食品分析センター)
2023年9月	1日間	1名	オンライン	JBCO技能試験2023 理化学試験 ヒスタミンフォローアップセミナー((一社)日本バイオテクノロジー認証機構)
2023年10月	1日間	1名	オンライン	AOAC日本オンラインセミナー「食品表示基準の最新動向(栄養成分表示と分析法)」((一社)AOAC日本)
2023年11月	1日間	1名	東京都	危険物実務講習会(東京消防庁 城東消防署)
2023年11月	1日間	1名	東京都	第72回技術大会((公社)日本缶詰びん詰レトルト食品協会)
2023年11月	1日間	1名	オンライン	安全運転管理者講習(東京都交通安全協会)
2023年11月	1日間	1名	東京都	事業者向け食品表示法講習会(東京都保健医療局健康安全部食品監視課)

2023年11月	3日間	1名	東京都	HACCP トレーナーコース ((一財) 日本食品分析センター)
2023年11月	1日間	2名	静岡県	危険物取扱者保安講習 ((一社) 静岡県危険物安全協会連合会)
2023年11月	1日間	1名	オンライン	GC、GC/MS の基礎及びメンテナンス講習会 (新川電機)
2023年11月	半日間	2名	オンライン	器具・容器包装研修会 (一社) 食品衛生登録検査機関協会)
2023年12月	1日間	1名	東京都	EU 向け水産物荷口確認講習会 ((一社) 日本食品認定機構)
2024年1月	1日間	1名	オンライン	令和5年度輸入食品関係事業者衛生講習会 (東京都保健医療局健康安全部)
2024年1月	1日間	1名	静岡県	化学物質管理者講習 ((一社) 安全衛生マネジメント協会)
2024年1月	3日間	1名	東京都	HACCP セミナーエキスパート講習会 (内部検証コース) ((一社) 大日本水産会、 (一財) 日本食品分析センター)
2024年2月	1日間	1名	京都府	化学物質管理者講習会 ((一社) 安全衛生マネジメント協会)
2024年2月	1日間	1名	大阪府	食品衛生検査施設向け講習会 (近畿厚生局)
2024年2月	1日間	1名	福岡県	化学物質管理者講習会 ((一社) 安全衛生マネジメント協会)
2024年2月	半日間	4名	東京都 又はオンライン	食品添加物研修会 (一社) 食品衛生登録検査機関協会)
2024年3月	1日間	2名	オンライン	第41回 勉強会 (東京検疫所 食品監視課)
2024年3月	1日間	1名	東京都	令和5年度 特定毒物研究者・使用者講習会 (東京都保健医療局健康安全部)
2024年3月	半日間	3名	オンライン	栄養成分研修会 (一社) 食品衛生登録検査機関協会)

(4) 各種研修会等への派遣

業界等からの要請を受け各種研修会、審査会等へ次のとおり職員を派遣した。

開催年月	主催者	日数	開催地、研修会等内容
2023年4月 ～ 2024年3月	一般社団法人 日本食品認定機構	23回	FDA HACCP 判定委員会 (東京都 (内 20 回はオンライン開催))
2023年4月 ～ 2023年11月	一般社団法人 日本食品認定機構	5回	EU HACCP 事前審査判定委員会 (東京都)
2023年5月 ～ 2024年3月	一般社団法人日本惣菜協会	4回	・ Jm-HACCP 審査会 ・ 高度化基盤整備計画認定審査会 (東京都)
2023年6月 ～ 2024年1月	一般社団法人大日本水産会	3日間 (9回)	FDA-HACCP 講習会 (北海道、岩手県、東京都、静岡県、大阪府、広島県、山口県)
2023年6月	独立行政法人農林水産消費安全技術センター	半日間	日本農林規格の制定等に係る検討会
2023年7月	公益社団法人日本缶詰びん詰レトルト食品協会	5日間	品質管理主任技術者資格認定講習会 (神奈川県)

2023年8月 ～ 2024年3月	一般財団法人 日本食品分析センター	3日間 (2回)	HACCP講習会 (東京都)
2023年9月	一般社団法人 日本パインアップル缶詰協会	半日間	開缶研究会 (東京都)
2023年9月	公益社団法人 静岡県産業振興財団	半日間	食品衛生講座 (静岡県)
2023年10月	公益社団法人日本缶詰びん詰 レトルト食品協会	2日間	HACCP主任技術者講習会 (神奈川県)
2023年11月	一般社団法人大日本水産会	1日間	SCP&SSOP講習会 (東京都)
2023年11月	一般社団法人 食品衛生登録検査機関協会	1日間	器具・容器包装研修会 (東京都)
2023年12月 ～ 2024年1月	一般社団法人 日本食品認定機構	2回	EU荷口検査講習会 (東京都)
2023年12月	女子栄養大学	半日間	HACCP概論 (埼玉県)
2024年2月	全国輸入食品等衛生協議会	1日間	食品添加物について (オンライン配信)
2024年2月	一般社団法人 食品衛生登録検査機関協会	1日間	食品添加物研修会 (東京都)
2024年3月	一般社団法人 食品衛生登録検査機関協会	1日間	栄養成分研修会 (東京都)

### Ⅲ 総務関係

#### 1 会議開催

##### (1) 理事会

事業報告及び事業計画、収支決算及び収支予算並びに諸規程等について審議するため、東京都及びオンラインで5回、書面によるみなし決議を2回実施した。

##### (2) 評議員会

事業報告及び事業計画、収支決算及び収支予算並びに定款及び諸規程の変更、理事及び監事の選任等について審議するため、東京都で会議を2回（オンライン参加を含む）実施した。

#### 2 許認可事項

##### (1) 業務規程変更の認可

実績なし

#### 3 人事関係

2023年6月、岡村秀次朗監事の任期満了に伴い倉持隆志氏が監事に就任した。他の役員については全員再選され、理事の業務分担の見直しを行った。

#### **4 所長会議**

収支予算、事業計画、業務運営等について検討するため、1月あたり1回の頻度（2023年4月及び2024年1月を除く）で10回（オンライン8回、対面2回）開催した。

#### **5 機械器具の導入**

残留農薬や残留動物用医薬品をはじめとする試験検査需要の多岐化に対応するため、各種試験検査機器を導入及び更新し、試験検査体制の整備充実を図った。

#### **6 電子システムの拡充**

前年度に引き続き外部有識者とアドバイザリー契約を締結し、現有システムのセキュリティ向上やクラウドの有効活用についての具体的な検討を継続している。また、2024年3月から請求書及び試験成績証明書等のWeb発行システムのテスト運用を開始した。

#### **7 会計監査**

##### **(1) 監査報告**

2022年度の監査報告書を、2023年5月26日にふじみ監査法人（旧 双研日栄監査法人）より受領した。

##### **(2) 会計監査**

ふじみ監査法人（旧 双研日栄監査法人）による会計監査が2023年5月1日、同5月11日、10月19日、2024年1月10日、同3月18日に本部、2024年3月19日に東京業所、2023年12月8日に清水事業所で実施された。